

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 25日

事業所名 ゆいはうす

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-------------|---|--|----|---------------|-----|--------------------------------------|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 5 | 1 | | | 学習スペースと活動スペースに分けて支援を行っていて、今後も活動に合わせた環境を整えていく。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 3 | 3 | | | その日の児童数に合わせた職員の配置を行っている。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 6 | | | | 室内に段差はなく、トイレもバリアフリー化している。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | | | | 支援について計画、実行、評価、改善を職員全員で行っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 6 | | | | 評価表を基に業務改善につなげていけるよう話し合いをしている。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 6 | | | | 結果による支援の質の評価及び改善の内容を、ホームページに掲載している。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 6 | | | | 職員以外の方からの意見や助言も参考にしながら業務改善に繋げている。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 6 | | | | 他の事業所と合同で定期的に研修を行っている。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | | 児童や保護者の願いを聞きながら、えいぶるやサービス利用計画に沿った支援計画を作成している。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 6 | | | | えいぶるやサービス利用計画に沿った支援計画を作成・評価している。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 6 | | | | 集団活動や個別活動の内容は職員で話し合って決めている。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 6 | | | | 日々の活動内容を職員間で話し合い、固定化しないように工夫している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 6 | | | | 平日、長期休暇で活動内容を変え、特に長期休暇では平日の短い時間では出来ない充実した活動を取り入れている。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | | 児童の様子に合わせて個別支援計画の内容に、個別活動や集団活動を組み込んでいる。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 6 | | | | 朝ミーティングを行い、必ずその日の支援について事前に確認を行っている。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 6 | | | | 活動後に話し合いの時間が持てない場合は、次の日の朝に必ず振り返りを行っている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 6 | | | | 活動記録以外にも職員が自由に書き込める記録用紙を活用している。 |
| 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 6 | | | | モニタリング会議の際に、職員で児童の評価、支援目標の見直しを行っている。 | |
| 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 6 | | | | ガイドラインの周知や共有、見直しを徹底する。 | |

| | | | | | | | | |
|--------------|---|---|---|---|---|--|--|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 6 | | | | 事前に職員間で児童について話し合い、話し合った内容を基に会議に参加している。 | |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 6 | | | | スクリレの登録を行い、場合によっては学校の先生とやりとりしながら情報を共有している。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | / | / | / | | | 現在、医療ケア児の利用無し |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 6 | | | | | 就学や他事業所の利用に向けて、児童の状況や様子について、情報を共有している。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | / | / | / | | | 現在まで、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所への移行する児童なし。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 5 | 1 | | | | 発達支援についての研修や勉強会に積極的に参加している。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 4 | 1 | 1 | | | 地域のイベントに参加する事で子ども達との関わりを増やしていく。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 1 | 3 | 1 | | | 今後地域の行事に参加し、自治会と連携していく。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 6 | | | | | 日々の送迎時の申し送りや連絡帳で様子を共有し、保護者との丁寧な対応を行っていく。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 6 | | | | | ペアトレ等を実施している相談支援事業所等を案内していく。 | |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 6 | | | | | 契約時により一層丁寧な説明を行っていく。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 6 | | | | | 日々の送迎時の申し送りや連絡帳、モニタリング以外にも面談等を検討していく。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | 3 | 3 | | | アンケートなどで意見を求めながら、要望があれば保護者会の開催を検討していく。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | | | | | 保護者からの相談があった際、職員間で共有と話し合いを行い、今後も迅速に対応していく。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 3 | 3 | | | | 毎月会報を作成・配布し、申し送りの際も活動内容を伝えている。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 6 | | | | | 特定の保管場所を決めて、個人情報の取り扱いには十分に配慮していく。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 6 | | | | | 児童や保護者の方の気持ちに寄り添いながら、工夫や配慮を行っている。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 1 | 5 | | | | 季節の行事を通して地域の方とコミュニケーションを取る事が出来た。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 6 | | | 全職員で周知し、それぞれのマニュアルをホームページで公開し、内容を検討していく。ホームページについても周知してもらう。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 6 | | | 避難訓練等、今後も定期的に行い、行った内容など保護者の方にも報告する。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 6 | | | 虐待防止の動画を視聴したり、定期的に研修に参加している。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 5 | | 1 | 児童や保護者に事前に説明しているが、今後個別支援計画書にも記載していく。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 6 | | | 医師の指示書を基に対応していく。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 5 | | 1 | ヒヤリハットの内容を職員間で確認、共有して事故の防止に繋げていく。 |